

会議名	平成30年度 第4回港区3R推進行動会議
開催日時	平成31年3月14日(木) 午後10時～12時まで
開催場所	港区立エコプラザ3階会議室A
委員	(出席者) 鬼沢座長、猿子委員、福吉委員、木原委員、山田委員、大駒委員、石曾根委員、加茂委員、西川委員、茂木委員 (欠席者) 関根委員、金田委員、櫻林委員、荒井委員、島村委員
事務局	福田係長、藤野、鈴木
傍聴者	なし
会議次第	区挨拶 1. 報告事項 (1) 事業者向けセミナーおよびリサイクル施設バス見学会について(紙ごみ削減) (2) 事業者向けセミナーについて(食品ロス削減) (3) リユース♡ブリッジ(第2回)について (4) 港区食品ロス削減フォーラムについて (5) みなとごみ0(ゼロ)ハッピー大作戦!について (6) エコ料理教室(親子向け・一般向け)について (7) 「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数 2. 意見交換 (1) 平成31年度の3R推進事業について
主な発言・報告内容	
●港区挨拶(加茂委員) 今年度も皆様のおかげで区内の3R事業が推進できた。事業で委員の皆様にもご協力いただき、12月に行われた港区食品ロス削減講演会が高輪区民センターの区民ホールで行われ、パネリストとして関根委員にご登壇いただいた。2月9日の3Rサタデーでは、福吉委員、木原委員にもご協力頂き、無事開催できた。2月4日に、第67回東京都社会福祉大会にて「麻布・赤坂青山清掃協力会」が東京都社会福祉協議会より表彰された。多年にわたり、「エコライフ・フェア MINATO」において麻布清掃協力会・赤坂青山清掃協力会と合同でリサイクルバザーに出展し、売上金を港区社会福祉協議会に寄付してきたことが地域福祉への貢献として認められ表彰された。(※港区HPにも掲載) 本日の会議の意見は来年度の事業に活かしたい。	
1 報告事項 (1) 事業者向けセミナーおよびリサイクル施設バス見学会について(紙ごみ削減)	
●事務局からの説明	

今年度は、より多くの事業者に周知するため、みなとリサイクル清掃事務所許可指導係と連携して小規模事業者・大規模事業者を対象に実施しました。

11月22日（木）の「事業者のためのごみ減量セミナー」では、港区内の事業者に「紙ごみ等の減量・リサイクル」に不可欠な知識やノウハウを事例紹介しました。当日のセミナー参加者は121名でした。

11月30日（金）、12月7日（金）の「施設バス見学会」では、紙類のリサイクルの現場を確認してもらうことにより、事業所における“効果的なごみ減量・リサイクル推進の仕組み作り”をサポートし、より具体的、実践的なリサイクル意識の醸成を図ることを目的として開催しました。事業者をはじめ区民も参加対象とし、当日の参加者は、2日間で合計45名でした。

●主な発言

・特になし

（2）事業者向けセミナーについて（食品ロス削減）

●事務局からの説明

事業系廃棄物の減量・資源化をすすめるため、組成の多くを占める厨芥ごみ（食品ロスを含む）の削減をテーマとして、2月5日（火）に事業者を対象としたセミナーを開催しました。

第1部に食ロス削減に取り組んでいる事業者として、株式会社コークッキング代表取締役 CEO 川越一磨氏、第2部に防災備蓄食料を食品ロスとして出さない活動している事業者として、一般社団法人防災備蓄収納プランナー協会熊田明美氏を講師に迎えてご講演いただき、当日の参加者は6名でした。

●主な発言

・特になし

（3）リユース♡ブリッジ（第2回）について

●事務局からの説明

ごみ減量とリサイクル推進のため、みなとリサイクル清掃事務所及びエコプラザと共催で、状態が良いにも関わらず、短期間で着ることができなくなってしまう成長期の子ども服にターゲットを当てた、子ども服・本の交換会を実施しています。

ごみ減量とリサイクル推進を目指すことを目的として、12月1日（土）に、エコプラザにて開催いたしました。当日の参加者は、合計95名でした。

●主な発言

・120から130cmのサイズの子どもは動きが激しいので、リサイクルする前に着古してしまうのではないかと。中には数回しか着ていないものもあると思うので、収集方法は検討の余地がある。

アンケートを見ると20～30代への3Rが浸透していないことが明確である。(鬼沢座長)

(4) 港区食品ロス削減フォーラムについて

●事務局からの説明

食べきり強化月間(冬の陣)にあわせて、12月13日(木)に食品ロス削減をテーマにしたフォーラムを開催しました。有識者の講演を通じて、区民及び区内事業者「食品ロス」の現状を知ってもらうとともに、事例紹介やパネルディスカッションで食品ロス削減に向けて具体的な取り組みを紹介することで、食品ロス削減について主体的に行動を起こしてもらうことを目的として実施いたしました。当日の参加者は、65名でした。

●主な意見

・まずは12月の平日の開催という日程に問題があったのではないかな。

テーマについては、「食品ロスの削減」「は以前より周知していることで、これまで実施したセミナー等とも内容が被っている。タイトルも堅いため、呼びかける言葉やキャッチフレーズなどを用いて、例えば「あなたは食べ残しをどうしていますか？」など問いかけるような優しい印象の言葉の方が参加しやすい。(委員)

・「食品ロス」の単語だけを見て判断して参加しない人もいるのではないかな。12月の中旬に半日のセミナーは拘束時間が長い。(委員)

・当事者意識を持っている人が少ないと感じた。幅広い人が来場したようだが、事業者向けか区民向けか、狙いとするターゲットやそのターゲットに伝えたい内容が漠然としている。どのような人に来てほしいかを明確にした方が集まりやすいのではないかな?と思う。開催時期も厳しい。

(委員)

(5) みなとごみ0(ゼロ)ハッピー大作戦!について

●事務局からの説明

今年度も2月3日(土)～2月12日(月・祝)にわたって「ごみ0(ゼロ)ハッピー大作戦!」と題して、3Rに関する様々なイベント、事業者セミナーや集団回収懇談会、港区ごみ減量優良事業者等表彰を開催し、区内における事業者や3R活動に積極的に取り組む方を中心にPRしました。

パネル展示会は、区内で3Rに取り組む企業・団体(23団体)の活動や港区3R推進行動会議の取組を紹介いたしました。

2月9日(土)では「3Rサタデー」は、ワークショップを中心に、ペットボトルや新聞紙を「リユース」したワークショップや、マイバッグ削減に役立つ「ふろしき」の活用術を紹介することで、参加した人が楽しみながら、3Rについて学んでいただくことを目的に実施し、23名が参加されました。

●主な発言

・ふろしき活用術に参加された方には、本結び、片結びを紹介してふろしきをお渡しした。大人から子供までマイバックの原点であることを紹介できて良かった。(委員)

・防災スリッパ、その他再生可能紙袋作りは、興味のある方は一生懸命作っていた。スリッパが比較的簡単に作れるが、マイバックは子どもには難しく、大人が作っていた。子どもは動きがあるものに興味を持つので、作ってその場で楽しめるものが良い。エコライフ・フェア MINATO では子どもを対象としたプラスチックを溶かす工作があり、子どもたちに好評だった。持って帰って自分で作れるものの方が好評かもしれない。(委員)

(6) エコ料理教室(親子向け・一般向け)について

●事務局からの説明

区民の方に料理を通して身近にできる3R活動を学んでいただき、3Rの中でもリデュース(発生抑制)の意識向上を目的とした、エコ料理教室を開催しております。

親子向けエコ料理教室としては、戸板女子短期大学食物栄養科と連携して、2月17日(日)に実施しました。今回は、各家庭で備蓄されているであろう防災備蓄食料を活用したメニューを開発し、実際に調理を行いました。当日の参加者は、8組16名でした。

一般向けには、平成30年度は食品を無駄なく調理する方法を学ぶ料理教室を、3月5日(火)に三田いきいきプラザ、3月6日(水)は神明いきいきプラザと共催で実施しました。野菜を皮ごと調理して無駄をなくするなど、料理を通じて、生ごみの減量を啓発するとともに、講師よりエコ料理のポイントを教わりました。当日の参加者は15名でした。

●主な発言

・特になし

(7) みんなと3R SNS 更新回数について

●事務局からの説明

3Rの認知度向上を目的とし、イベントの告知や開催報告だけでなく、3Rに関する取組みに親しみを持ってもらえるような情報をTwitter・Facebookにて紹介しています。

●主な発言

・特になし

2. 意見交換その他

(1) 平成31年度の3R推進事業について

●事務局からの説明

来年度の3R推進事業について、新規事業、実施内容を変更する事業及び廃止する事業について

提案させていただきますので、委員の皆様からご意見をお願いいたします。

【変更点】

- ・3R推進行動会議は開催回数や時期は変わらない。3R実践部会の回数は同じだが、「みなとごみ0ハッピー大作戦」の内容を充実させるために、2回目を1か月前倒しに設定している。
- ・「リユース♡ブリッジ」は、12月にみなとパーク芝浦にて開催を予定している。第1回は気温の高さを考慮して、例年の8月開催から6月開催へと実施時期を変更する。
- ・「ふれ愛まつりだ、芝地区！」は今年度は出展を見送る。
- ・「みなと3Rパネル展示会」の開催を2回から1回に変更し、2月にのみ開催する。
- ・エコ料理教室（親子向け・一般向け）は、エコ料理レシピの紹介や試作動画などをSNS発信に移行する。
- ・バス見学会は区民の参加者も少ないので、リサイクル施設の紹介をパネル展やSNSで広く紹介をしていく。
- ・「段ボールコンポスト出前講座」など、親子向けの講座は分かりやすく企画内容を説明するようにする。
- ・次年度よりSNSの拡充、強化を行う。20・30代のSNS世代への3Rの認知度アップを積極的に進めていく。SNSでは、3Rの専門家に寄稿文を投稿してもらい、メールマガジンの配信を予定している。スーパーマーケット協会の方にもご協力を頂きながら行いたいと思っている。
- ・イベント開催1週間前より、SNS上で、開催日までのカウントダウンを表示する。
- ・「プラスチック・スマート×Minato Action」の事業の一環としてリユース食器を利用した場合は区より助成。（上限5万円）

●主な発言

【エコ料理教室について】

- ・レシピを減らして2部制にしてはどうか。メニューのやり方次第では1日で2回教室を開催することなど、時間と場所等の制限を踏まえて講師と相談してもよい。人気のあるコンテンツであるため、参加者、特に子どもの立場からするとかわいそうである。（委員）
- 申し込んだにも関わらず参加できなかった人に、昨年度の料理教室のレシピをを配布した。（事務局）
- 時間と人手が掛かるという点では、参加される方が限定されるところもあり、（座長）
- ・これまでのレシピをSNS発信した方が若い方を含めて幅広い層へ3Rの認識が広がるというメリットはある。（座長）
- ・SNSの拡充に異論はないが、イベントを開催することの大事さもので、これまでの活動の本質が変わらないようにしたい。（委員）

【SNSについて】

・イベント開始前に SNS 上で、断次郎とリユースがカウントダウンを行うことはインパクトがあつてよい。(座長)

・SNS の発信はすでに用いている SNS で発信を行うが、今現在での SNS の反響が少ないのに、SNS のみで廃止した事業の役割を賄えるのか。SNS そのものの周知に工夫が必要であるので、SNS の周知徹底をお願いしたい。(委員)

→エコライフ・フェアMINATOやみなと区民まつりで何を実施するかは今後決めたいが、例えばそのようなイベントの場を用いて、QRコードを配布するなど、港区3R推進行動会議のSNSのPRを行いたい。

・割りばしリユース食器貸し出しなどは、環境省の「プラスチック・スマート」に登録できるため、是非登録をお願いしたい。こちらは登録数が増えており、自治体や団体・企業の取り組み内容が写真付きで投稿できるようになっている。港区もこのような参加型の投稿サイトを制作してはどうか。区民が自ら投稿できるものがあれば取組も広がるので、ごみを拾ったことや散乱したごみを片づけた様子などを載せて、参加型のサイトにすることも検討できる。(座長)

【食品ロスについて】

・食品ロスは思った以上に消費者に浸透しておらず、当事者意識が低い。フォーラムも有意義なイベントではあったが、まだ時期早々であったように思える。今年は新しく SNS での取組を推進するので、SNS を用いて裾野を広げた後にイベント等を開催して一斉に呼びかけることも一つの手である。(委員)

・フードドライブの食品を預けるために、毎回港清掃事務所に行くのは遠い。支所など、他の施設にフードドライブを設置するのは難しいのか。(委員)

→各総合支所と連携して実施するために調整したが、食品を扱う事業なのでなかなか難しい。(事務局)

・施設見学について、見学会のように日程を設定してバスで行かなくても、希望者が何人か集まれば、いつでも施設を見学できる事をもっと普及してもよい。(委員)

・フードドライブは機会を増やし、年間5回のイベントに合わせて実施する。(事務局)

・親子エコ料理については事務局でも充分協議をして、今回提案をさせていただいた。戸板女子短期大学にも多大なるご協力をいただき、また、参加申込も多くいただいているので、今後どのような形で開催が望ましいかは、皆様のご意見をいただきながら協議したい。SNS の反響が少ないのはおっしゃる通りで、例えば環境課ではこの施設でこんな昆虫がいたなどの投稿コーナーを設けているので、そのような参加型のサイトにする試みを検討したい。

食品ロスの実態がよく分かっていないので、説得力のある対策がまだ打ち出せない。次年度には食品ロスに関する意識調査を行うほか、事業者の調査を行う予定である。廃棄物処理基本計画で記載した内容よりも、より具体的な対策を実施したいと考えている。(委員)

【その他】

- ・海洋プラスチックについては、情報提供あたり、プラスチックの付き合い方についてのアクション。講演会やセミナー、清掃車のラッピングなども行う。
- ・マイバッグ持参率が低いので、付近の学校と連携して普及・啓発活動を実施したい。
- ・その他再生可能紙は名称を区民に伝えるとともに、その他再生可能紙を資源として出してもらいたい。区内の小学校、中学校で配布。周知のチラシを作成しており、さらに部数を求める声も上がっている。

(事務局)

- ・可燃ごみとして出されていたその他再生可能紙を、資源として処理するだけでもごみの削減ができる。(座長)

3. その他

平成31年度 第1回3R推進行動会議日程

日程調整の結果、4月24日(水) 10時より、エコプラザにて開催